

■第32章

- 1) 転調 (modulation)
 - 2) 主調 (principal key)
 - 3) 近親調 (related key)
 - 3-1) 同名調 (parallel key/同主調)
 - 3-2) 平行調 (relative key)
 - 3-3) 属調 (dominant key)
 - 3-4) 下屬調 (subdominant relative key)
 - 3-5) 属平行調 (dominant relative key)
 - 3-6) 属下屬調 (subdominant key)
 - 4) 遠隔調 (remote key)
-

1) 転調 (modulation)

曲の途中で他の調に変わる事を「転調」(modulation)と言います。実際に曲作りを行う時には違和感なく転調させる事で、より多くのコード進行のバリエーションを創り出す事ができます。転調をスムーズに行う為には、転調する前と後の二つの調がどのような関係にあるか理解しておくとい良いでしょう。

2) 主調 (principal key)

楽曲の主となる調の事を「主調」(principal key)と呼びます。実際の曲中では、転調した時にはそのまま曲が終わる事は少なく、多くは転調した部分が曲の「転換部分」のような役割を持ち、その後は本来の調へと戻ります。この時、転調が行なわれても楽曲の全体的な調性感は一つとして考えられ、このような楽曲の主となる調が「主調」にあたります。

3) 近親調(related key)

ある二つの調を比較した時、互いに多くの共通音を持つ調が存在します。それらの調は互いに近い関係にあると考えられ、それを「近親調」(related key/関係調)と呼びます。(※32-1)

近親調には「同名調」「平行調」「属調」「下屬調」「属平行調」「下屬平行調」の六種類があり、近親調へ転調する事を「自然転調」と言います。

また、近親調以外の調を「遠隔調」(remote key)と呼び、遠隔調への転調を「変格転調」と言います。